第5回組織開発ラボラトリー

組織開発のスタートアップ＆働きかけの戦略

'Start up OD and Intervention Strategies

担当者	パトリシア・ビドル-パドゥヴァ 中村和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授）
概要	【組織開発（OD：Organization Development）とは？】 　組織開発（OD: Organization Development）の源流はＴグループにあります。1950年代の終わり頃より、Ｔグループのトレーナー達が、グループへの働きかけの知識やスキルを、企業のミーティング場面でのチーム・ビルディングに応用していったのが、組織開発の始まりでした。 　組織開発とは、組織の効果性と健全性を高めることをめざした、計画的で長期的な変革の実践であり、組織文化や人的要因（やる気や満足度、コミュニケーション、人と人との関係性、協働性、リーダーシップ、規範など）のプロセスに働きかけるための理論や手法の体系です。コーチング、ファシリテーション、チーム・ビルディング、プロセス・コンサルテーション、フューチャーサーチ、ワールドカフェ、ＡＩなど、個別の手法として日本に紹介・導入されているものも、米国においては組織開発（ＯＤ）の歴史と体系のもとに発展してきました。組織開発の発展には、NTL Instituteのメンバー　（シャイン、ベックハード、アージリス、バークなど）が貢献してきました。 　日本においてＴグループを長年実施してきた当センターとして、米国における組織開発の理論と実践について「ラボラトリー」として体験から学ぶトレーニングを日本で実践することも重要なミッションであると考えています。そのミッションを実現するために、当センターでは、米国NTL Instituteとのパートナーシップに基づき、組織開発の専門家を日本に招聘して、組織開発について体験から学ぶラボラトリーを開催しています。 　NTL Instituteは、組織開発のステップについてOD Mapというモデルで以下のように表しています。 1) エントリーと心理的合意 2) データ収集 3) データ分析　　※2)～4)が「組織診断」の段階です 4) フィードバック 5) アクション計画 6) アクション実施 7) 評価 8) 終結 今年度の組織開発ラボラトリーでは、主に「1)エントリーと心理的合意」について体験から学んでいきます。 ちなみに、2012年度の「影響力のあるは組織診断」は2)～4)のステップについて、2011年度の「組織開発の理論と実践」は1)～7)までの基本的なステップについて体験から学ぶ講座でした。 【今年度の組織開発ラボラトリーの概要】 　今年度の「第5回組織開発ラボラトリー」は、米国NTL Instituteのメンバー、パトリシア・ビドル・パドゥヴァ氏をお招きし、「組織開発のスタートアップ＆働きかけの戦略」というタイトルで実施されます。パトリシア・ビドル・パドゥヴァ氏は豊かな経験をもつ組織開発コンサルタントであり、NTLが主催する組織開発の研修のトレーナーを長年担当されてきました。 また、NTLの「組織開発修了証プログラム（OD certifi cate program）」の責任者を担当されています。 　今回実施される「組織開発のスタートアップ＆働きかけの戦略」は、NTLの「組織開発修了証プログラム」で、第２ステップの研修として位置付けられている、"Start up: Creating a Consulting Contract"をベースにしたものです。また、第４ステップの研修として位置づけられている"Intervention Strategies"のプログラムの要素も多少盛り込まれる予定です。 　本講座では、組織開発の最初のステップである「エントリーと心理的合意」について、小講義、自分自身のケースについて考える実習、ロールプレイなどを通して学んでいきます。「エントリーと心理的合意」のステップとは、組織開発の実践者がクライアントと初めて会い（＝エントリー）、組織開発の取り組みの最終目標や進め方を合意していく段階を指します。この心理的合意は非常に重要で、この段階で組織開発の成功／不成功の７～８割が決まるといわれています。日本では、組織開発のこの初期の段階について学ぶことができる講座は他にはありません。 　　また本講座では、心理的合意がなされた後に、どのような進め方で働きかけ（アクション）を実施していくのが効果的か、という働きかけ（介入）の戦略について、自分自身のケースについて考えることを中心に学んでいきます。 　　本講座は、組織開発の基本的な考え方や進め方について学んだ後に受講されることをお勧めします。組織開発コンサルタント、ファシリテーター、組織内部の変革推進者（チェンジ・エージェント）、人事・人材開発担当者の方など、組織開発について体験から学びながら理解を深めたい方々に最適な講座です。
日程	2014年2月15日（土）～2月20日（木）　5泊6日
定員	18名
参加資格	組織開発の基本的な進め方について理解されている、組織開発コンサルタント、ファシリテーター、組織内部の変革推進者（チェンジ・エージェント）、人事・人材開発担当者、マネージャーやリーダーなど。なお、全体会での小講義や実習の際には通訳がなされます。 ※当センターの受講歴などの参加資格は特に設けていません。 ※宿泊制プログラムのため、下記施設にご宿泊いただきます。また、グループでの体験学習方式で進められるため、全日程にご参加いただく必要があります。全日程にご参加いただけない場合は、参加をお断りします。
会場	（財）ＫＥＥＰ協会・清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里3545　最寄駅：JR清里
受講料	受講料：200,000円〈税込〉 ※本講座は、受講料割引は適用されません。 滞在費： 58,250円〈税込〉　（ツイン利用、宿泊・食事・会場費含む） ※現地徴収
メルマガ 講座報告	コーディネーター　中村和彦　記 　本センターは、米国NTL Instituteとのパートナーシップに基づいて、NTLメンバーを毎年招へいし、組織開発について体験から学ぶ「組織開発ラボラトリー」を開催しています。2013年度の第5回組織開発ラボラトリーは、「組織開発のスタートアップ＆働きかけの戦略」というテーマで、2月16日（日）～2月20日（木）に名古屋市内の研修施設で行われました。講師は、NTLメンバーのパトリシア・バイドル-パドゥヴァ氏（Patricia Bidol-Padva, Ph.D）でした。 　今回の講座では、NTL Instituteの組織開発サーティフィケート・プログラムのコースである、"Starting up in OD"の内容が前半に、"Intervention Strategy"の内容が後半に扱われました。参加者は15名、うち10名は過去に行われた組織開発ラボラトリーに参加した方でした。講座の前半である「組織開発のスタートアップ」では、組織開発でエントリーと心理的契約がいかに重要であるか、また、その留意点について、小講義やロールプレイ、参加者の皆さんの事例から考えていきました。講座の後半で行われた「働きかけの戦略」で は、ケーススタディや参加者同士の対話を通して、さまざまなシステムのレベル（個人レベル、グループレベル、組織レベルなど）に対する働きかけについて考えていきました。小講義は全体の約2割、グループでの対話や体験学習が約8割という時間配分であり、体験から学ぶことを中心としたこのプログラムから、参加者の皆さんは多くの学びや洞察を得ていきました。 　ちなみに、当初は山梨県清里の清泉寮で講座が実施される予定でしたが、大雪の影響で参加者の皆さんに山梨県までお越しいただくことができなくなりました。そのため、名古屋市内に会場を急きょ変更し、日程も１日短縮されて５日間で実施されました。私達スタッフは前日から清里に滞在しており、交通手段が遮断されていたために山梨県外に出ることが難しい状況に陥りましたが、何とか名古屋に戻ることができ、無事に講座を開始することができました。講座が無事に行われ、終了できたことの奇跡とありがたさを感じています。 　会場や日程の変更があったにも関わらず、名古屋に集ってくださった参加者の方々、長時間かけて名古屋まで移動するという、体力的にも厳しい状況の中で、全力で講座を実施してくださった講師のパットさんや通訳の加藤さん、山口さん、講座の準備段階から清里での対応、そして名古屋に戻って講座の終了まで全力でサポートしてくれた事務局の石川さんに感謝申し上げます。